

マスタ更新チェック（点数マスタ）

点数マスタについて、提供された点数マスタと比較を行い、不一致となった内容を CSV ファイルへ書き出すツールを作成しましたので、操作方法について説明します。

ツールパッケージ (tensu-check-0.8.tgz) は、日レセのバージョン 5.1.0 及び 5.0.0 に対応しています。

1 操作方法

(1) コマンドによる処理を行いますので、主サーバでターミナルエミュレータを起動します。

(2) ツールをダウンロードします。

マスタ更新チェックツールをダウンロードして展開します。

```
$ wget http://ftp.orca.med.or.jp/pub/etc/tools/tensu-check-0.8.tgz
$ tar xvzf tensu-check-0.8.tgz
$ cd tensu-check-0.8
```

(md5:ac3cd3e28f4b2592d1c585a024de2727)

(3) 処理を実行します。

```
$ sudo -u orca bash tensu-check.sh
```

【注意】 処理中に ftp サイトからマスタ更新チェック用のデータをダウンロードします。よって、インターネットへ接続された環境で処理を行ってください。

(4) 処理結果を確認します。

処理結果は標準出力に表示されます。

```
オリジナルデータをダウンロードします。
[SUCCESS] verify http://ftp.orca.med.or.jp/pub/orca_data/master/tensucheck/
tensu-check-v06.dat.gz.p7m
[SUCCESS] store /tmp/tensu-check-v06.dat.gz
オリジナルデータをダウンロードしました。
```

オリジナルデータについて

作成日 : [2018-11-30 16:02:11]

レコード数 : [31292]

2018/11/30/17:00:00 P:dbstub_main.c:257:module ORCBTNSCHK01: 01,,

```
Original Data [ /tmp/tensu-check-v06.dat ]
Proof File    [ /tmp/tensu-check-proof.csv ]
Criterion Date [ 20181130 ]
Proof Limiter [      0 ]
```

(ORCBTNSCHK01) [医療法人 オルカ医院]

(ORCBTNSCHK01) === === ==> [1,000]

(ORCBTNSCHK01) === === ==> [2,000]

~

(ORCBTNSCHK01) === === ==> [30,000]

(ORCBTNSCHK01) === === ==> [31,000]

(ORCBTNSCHK01) Original Data [31,292]

(ORCBTNSCHK01) Proof Data [0]

点数マスタはすべて一致しました。

“点数マスタはすべて一致しました。”

と表示された場合は、不一致がなかったということになります。

```
* (ORCBTNSCHK01)* === === ==> [ 30,000 ]
* (ORCBTNSCHK01)* === === ==> [ 31,000 ]

* (ORCBTNSCHK01)* Original Data [ 31,292 ]
* (ORCBTNSCHK01)* Proof Data [ 1 ]
```

点数マスタは訂正された内容があるようです。
プルーフファイル(/tmp/tensu-check-proof.csv)を確認してください。

“点数マスタは訂正された内容があるようです。”

“プルーフファイル(/tmp/tensu-check-proof.csv)を確認してください。”

と表示された場合は、マスタ更新処理で正しく処理ができなかった、又は、ユーザによりデータを訂正したなどにより、不一致があったということになります。

この場合は、プルーフファイル (CSV 形式) を確認します。

2 プルーフファイルの内容

プルーフファイルはデフォルトでは、文字コード UTF-8 で作成します。

1 行目

処理日、医療機関識別番号及び医療機関名称を記録します。

点数マスタ更新チェック, 処理日, [yyyy. mm. dd], [医療機関識別番号], [医療機関名称]

処理日

処理を実行した日付を記録します。

医療機関識別番号

デフォルトでは 01 を、-n オプションを指定した場合はその内容を記録します。

医療機関名称

医療機関識別番号より該当するシステム管理の 1001 に登録されている医療機関名称を記録します。

2 行目

列の名称を記録します。

(ブランク), 診療コード, 名称, 項目, オリジナル, ユーザ, 更新日

3行目以降

不一致内容などを記録します。

(ブランク)

以下ケースで見出しを記録します。

マスタなし：診療コードのマスタが存在しない場合

マスタ重複：診療コードで基準日(※1)に有効なマスタが2件以上存在する場合

確認：診療コードのマスタの有効期間が違う場合

(ブランク)：診療コードのマスタの単一項目で不一致がある場合

診療コード

診療コードを記録します。

名称

診療コードの名称を記録します。

項目

不一致の内容の項目名称を記録します。

“有効期間”の場合は、「オリジナル」、「ユーザ」項目に対して有効開始日-有効終了日を記録します。

オリジナル

提供された点数マスタの内容を記録します。

ユーザ

ユーザの点数マスタの内容を記録します。

更新日

ユーザの点数マスタの更新日を記録します。

※1 基準日とは、ユーザの点数マスタを参照する場合に、基準日に有効であるマスタを対象とするための日付を表します。

【マスタ更新チェック】

3 スクリプトコマンドのオプション

```
$ sudo -u orca bash tensu-check.sh -h
```

-h オプションを付けるとヘルプを表示します。

使用法: tensu-check.sh [オプション]

点数マスタの更新状態のチェックを行い、オリジナルと比較した内容をファイルへ出力する。

- d 点数マスタの基準日を yyyyymmdd 形式で指定する。
指定しない場合は、パラメタファイルで指定した基準日とする。
- n グループ診療構成の場合、チェックする医療機関を医療機関識別番号により指定する。
- P パラメタファイルを指定する。
- e プルーフファイルを EUC-JP で作成する。
- s プルーフファイルを Shift JIS で作成する。
- w プルーフファイルを UTF-8 で作成する (デフォルト)。
- h 使い方を表示して終了する

4 パラメータファイル

ファイルをデフォルトとは違うものを使用する場合に編集します。

```
# 01-1 : 点数マスタオリジナルデータファイル (入力)
# 01-2 : プルーフファイル (出力)
# 01-3 : 点数マスタの基準日を yyyyymmdd 形式で指定 ブランクはマシン日付
# 01-4 : プルーフ件数リミッター (数字5文字) 指定した件数に到達したら終了
@01-1: /tmp/tensu-check-v06.dat
@01-2: /tmp/tensu-check-proof.csv
@01-3:
@01-4: 00000
```

@01-1:

点数マスタオリジナルデータファイル (マスタ更新チェック用のデータ) を指定します。
デフォルトは、/tmp/tensu-check-v06.dat です。
デフォルトの場合は、実行する度に ftp サイトからオリジナルデータファイルをダウンロードします。

@01-2:

プルーフファイル指定します。
デフォルトは、/tmp/tensu-check-proof.csv (UTF-8) です。

@01-3:

ユーザの点数マスタを参照するための基準日を yyyyymmdd 形式で指定します。
デフォルトは未指定 (ブランク) です。
ブランクの場合は、マシン日付を基準日とします。

@01-4:

プルーフ件数が多いため途中で終了させたい場合など、プルーフを何件出力したら終了させるかを、数字5桁で指定します。

【マスタ更新チェック】